

通信小海

今月の御言葉

「十字架のことは滅びにいたる人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには神の力です。」コリント前書一：十八

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治

会堂・牧師館 南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七

〒三八四一一 二二 二六七九二四七七六

〒振替 〇〇五三〇 〇 六一六八三

珍しい体験談

牧師 水草修治



先日、野辺山の集会でたいへん珍しい体験談を聞く機会に恵まれた。須佐光男さんと二三子牧師という安曇野の人である。二五年九月、この奥さんは、天国を見てさわって帰ってきたというのである。

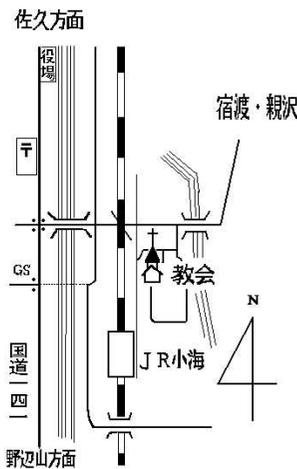
その日、光男さんはいつものように出勤した。ところが、午後八時、光男さんが帰宅すると家の灯りは消えており、不思議に思って玄関をあけてはいると、そこに二三子さんが倒れていた。「クモ膜下出血です。倒れてすでに三時間経過していますから、手術をしても、生存確率は十パーセント、かりに助かったとしても記憶喪失、半身不随、言語障害、

味覚障害、視覚障害などの後遺症が残る」と医師に宣告されてしまった。

術後三日目、二三子さんは目を覚ました。倒れた時のことは何も覚えていないけれど、この三日間、鮮明に記憶していることがあった。それは見てさわってきた天国での体験である。

「ふと気づくと、私は天国の真ん中にポンと置かれていました。この世にいたとき、私は『あの牧師先生は立派だなあ、この先生も優秀だなあ、それに比べて私は何もできない。きつと天国に入れてもらっても隅っこで小さくなっているんだろうなあ』と劣等感を持っていたんです。ところが、意外なことに、実際に行ってみると、私は天国で父・子・聖霊の三位一体の神様の目の前に、輝かしい宝石のようにたいせつにされているのがわかりました。もう、うれしくて、無邪気な子どもみたいにワイイとはなました。

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半
夕礼拝 午後七時半から八時半

*海尻・川上・南相木・甲斐大泉で毎月、
集会をしています。

個人的な聖書勉強や個人的なこ
も乗ります。

そつななんです。イエス様が『人はこどものようにならなければ、天国に入れません』とおっしゃったように、天国に入るときに私たちの邪念は消えて子どものように素直になれるのです。

天国では虹が見えたのですが、それは七色の虹ではなくて、クリスタルガラスのように透き通っていました。また両手に収まりきれないほど大きな宝石がたくさん散らばっていたのです。地上の私なら、ポケットに入れてしまいたいと思うでしょうが、天国ではただ純粹に『わあ。きれい、きれい』と思うだけでした。

もうひとつ驚いたことは、天国に行ったとき、私はこの愛する夫、光男ちゃんのことをすっかり忘れてしまつて覚えていなかったということ。自分が自分であることははっきりとしているのですが、地上での記憶はきれいさっぱり消えてしまつていて、自分が死んだのだという意識すらないので、『古いものは過ぎ去つて、見よ、すべてが新しくなつた。』と聖書にあるとおりです。

考えてみれば、地上に残してきた家族の

ことなど記憶していたら、天国はきつと別離の悲しみにくれている人だらけになつて、それでは天国でなくなつてしまつてしまうでしょう。『天国では娶ることも嫁ぐこともなく、聖徒たちは天使のようです』とイエス様がおっしゃつたのはこのことでしょう。(中略)

神様は、私に、すばらしい天国が本当にあることを、皆さんに知らせるといふ特別の使命を与えて、この世に送り返したのです。『

須佐さんは、その後、医師が奇跡と言わざるを得ない回復を遂げる。わずか一か月後、廊下であつた主治医の前でスキップをして見せて、退院許可がでたのである。

「天国はほんとうにきれいなすばらしいところ。でも天国に持つて行けないものがあります。それは、憎しみ・ねたみ・姦通・よこしま・盗みといった罪です。イエス様はみなさんの罪を背負つて罰を受けてくださいました。イエス様を信じてください。」
須佐二三子さんは、この話を、ずっと立つたまま、力強く語つたのである。

ご支援をお願いします。



三月に契約切れで雇用停止され、住まいも確保できず、野宿生活に入らざるをえなくなつたというケースが増えて来ると思われます。ご支援をよろしくお願いいたします。

送付先

▽小海キリスト教会にお持ちくださるが、
南牧村社協へ。

〒384-1302 南牧村大字海ノ口966 1

5 南牧村社会福祉協議会 気付 山谷農場

*着払いによる送付はご遠慮ください。荷札に「木曜午後送付希望」とお書きください。

山谷農場事務局(藤田 寛)小海町芦谷ヒルサイ
ドコーポ一 二号室毎週金曜・土曜はあります。

電話090-14366334

〒777-0427 08662088

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

カンパ・振替 二四・四五三七九六

十字架のことば



「十字架のことばは滅びにいたる人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには神の力です。」コリント前書一章十八節

なんと強烈なことばであろうか。このことばは人類を滅びにいたる人々と、救いを受ける人々とに二分してしまう。「人類みな兄弟」という人は怒り出すかもしれない。しかし、カッパする前に聖書のいう意味を冷静に聞いてみよう。滅びとはなにか。救いとはなんだろうか。

*滅び

聖書でいう「滅び」とは、創造主から隔絶されている状態を意味している。だから、たとえ地位もお金も名誉もあつて、なに不自由ない生活をしている人であつても、創造主である神に意識的に背を向けたり、ただ無関心でいたりするなら、聖書の表現でいえば、

その人はすでに滅びている。滅びた人は心にむなしさと不安を抱えているので、その現実から目をそらすために趣味・仕事・お金・宗教など夢中になれるものを探し回る。しかし、やはり空しい。本来、すべての人は、神との人格的交流のうちに喜びと平安を得るようにならなければならないからである。人の心には神以外の何者をもつてしても埋めることのできない空洞がある。

そして、創造主など関係ないという生きかたを選んだ人は、死後も、自らが望んだように、神から隔絶されたむなししい、たましいの渴きの場所である死者の国に永久に住むことになる。

*救い

では、「救い」とはなんであると聖書は語っているだろう。救いとは、「滅び」とは反対に、神とともに生きる人生を意味している。その人は経済的に豊かかもしれないし、あるいは貧しいかもしれない。立派な肩書きや地位があるかもしれないし、ないかもしれない。そんなことは救いの本質とは関係がない。救いとは、創造主である神と人格的な交流のある生活なのである。救われた人は、

創造主である神が自分とともにいてくださって、人生を守り導いてくださることを確信している。人生には嬉しいこともあり、つらいこともあるけれども、神とともに生きる救われた人生にはなんともいえない平安と喜びがある。大船に乗った心地といえればよいだろうか。万物の創造主にして支配者であるお方が、私のことをご自分の瞳のように愛していてくださって、人生を導いていてくださるのだから、たとえ今病気であつたり貧しかったりしても、最終的に決して悪いようにはなさはずがないからである。「すべてのことを働かせて益としてくださる」と知っているからである。

救われた人にも、いずれは死が訪れる。しかし、その死もまた益なのである。なぜなら、救われた人は、肉体を去るとき、最愛の神の愛の腕のなかにいだかれることになるからである。「私にとっては、生きることはキリスト、死ぬことも益です。」とあるとおりである。

*十字架のことば

では、救いと十字架のことばはどのような関係するのだろうか。人類を二分してしまう

「十字架のことは」とはなんだろうか。それは、「イエス・キリストは、私たちの罪のために十字架で死んでくださり、三日目によみがえられた。」ということばである。すべての人には罪がある。神に背を向けること、嘘、ねたみ、盗み、浮気と、人は罪を重ね、その罪が神と人とを断絶させ、地獄へと引きずりこもうとしている。神の御子は罪に打ちひしがれた私たちをあわれんでくださって地上に人として来られ、十字架上で身代わりにこれを背負ってくださった。キリストは「父よ、彼らを赦してください。」と祈ってくださいました。これが十字架のことばである。

この十字架のことばを読んで、あなたは「なんと愚かしいことばだ。」と思ったのだろうか。それとも、「なんとありがたいことばだろう。」と思ったのだろうか。十字架のことばは滅びにいたる人々には愚かであっても、救いを受ける者にとっては神の力なのである。



国語の解き方

「国語なんてセンスがあるかないかで決まるんじゃないか。」

「国語は日本語だからなんとなくできる。」

「なんで、あの答えが正しくて、私の答えがまちがっているのかわからない。」

「登場人物の心理を書きなさい」というから、登場人物の立場に自分を置きかえて考えなければ、バツにされてしまった。」

国語はなにを勉強したらよいかわからず漢字練習しかしない人。得意なつもりなのだけれども、時によって高低の波があるという人は、右のような感想を持つようです。

国語は、書かれていることを正しく読み取る力を診断するものです。感想は読み取りのあとの話。ですから、その読み取りのノウハウを知り、トレーニングすることが必要なのです。

募集 中学一年生 三年生(一年間)

楽しく力がつく英語

せっかく青春の貴重な六年間をつかうのだから、少しは身につく方法で学ばせてあげたい。これがこの教室の願いです。

この教室では、ふつう中学二年の冬には学校教科書は終わって、読み物に入ります。『エルフアントマン』『消えたコイン』『オーヘンリー短編集』『フライ・アウェイ・ホーム』『リトゥン・イン・ガスカイ』『ギリシャ神話』『小公女』『オペラ座の怪人』『オードリー・ヘップバーン』など優しい英書を文法をまとめつつ訳読して行き、時々映画ビデオを見ます。そのうち子どもたちは訳さないで読めるようになります。この程度の力がつくと、高校受験はさほど問題ではなくなりますし、その先、高校生になっても本人が英語読書を楽しみ続ければ、将来、仕事にも趣味にも役立つ英語力が身につくでしょう。

募集 中学一年生 一クラス定員七名

英語 国語とも締め切り 四月末日

電話 九二 四七七六